



Cisco Unity Connection SRSV のサービス

はじめに

この章では、Cisco Unity Connection Survivable Remote Site Voicemail のさまざまな重要サービス、基本サービス、オプション サービスに関する情報を提供するとともに、サービスの管理方法について説明します。

- [Unity Connection SRSV サービス, 1 ページ](#)
- [コントロールセンターでのサービスの設定, 4 ページ](#)

Unity Connection SRSV サービス

表 1 : Cisco Unity Connection SRSV のサービス で、Unity Connection SRSV のサービスを説明します。

表 1 : Cisco Unity Connection SRSV のサービス

サービス	説明
ステータスのみのサービス	
Connection DB	<p>このサービスは、Cisco Unity Connection データベースを有効化します。無効化はコマンドラインインターフェイス (CLI) からのみ行なえます。</p> <p>注意 Unity Connection SRSV サーバを機能させるには、このサービスが常に [起動済み (Started)] の状態になっている必要があります。このサービスを停止または再起動すると、他の重要なサービスに影響します。</p>
Connection License Manager Server	<p>このサービスは、Unity Connection サーバのライセンスステータスを管理します。</p>

サービス	説明
Connection Server Role Manager	このサービスは、Unity Connection クラスタの設定時にサーバステータスを有効にします。無効化はコマンドライン インターフェイス (CLI) からのみ行なえます。
Connection Serviceability	このサービスは、Cisco Unity Connection Serviceability Administration インターフェイスを有効にします。無効化はコマンドライン インターフェイス (CLI) からのみ行なえます。
重要なサービス	
Connection Conversation Manager	このサービスは、Unity Connection によるコール処理を可能にします。このサービスを無効にすると、Unity Connection の機能が低下します。
Connection Message Transfer Agent	このサービスは、メッセージストアへのメッセージ配信を有効にします。このサービスを無効にすると、Unity Connection の機能が低下します。
Connection Mixer	このサービスは、コール用のオーディオ (メディアストリーム)、録音メッセージ、およびテキスト/スピーチ (TTS) を有効にします。このサービスを無効にすると、Unity Connection の機能が低下します。
Connection Notifier	このサービスは、通話待ち指示器 (MWI) のオン/オフの切り替えなどのメッセージ通知を有効にします。このサービスを無効にすると、Unity Connection の機能が低下します。
基本サービス	
Connection DB Event Publisher	このサービスは、Unity Connection データベースに対する変更について Unity Connection コンポーネントが通知を受信できるようにします。
Connection SRSV Administration	このサービスは、Cisco Unity Connection SRSV Administration とインターフェイスで保存された設定を有効にします。
オプション サービス	
Connection Branch Sync Service	このサービスは、Survivable Remote Site Voicemail (SRSV) 機能を有効にします。

サービス	説明
Connection CM Database Event Listener	このサービスは、Cisco Unified Communications Manager データベース内の変更検出を可能にします。
Connection Database Proxy	このサービスは、Unity Connection サーバにインストールされていないツール（COBRAS、User Data Dump、Distribution List Builder など）を使用して、ネットワーク上の Windows クライアントから ODBC 経由で Unity Connection データベースに直接アクセスできるようにします。 このサービスはデフォルトでオフになっています。これらのツールのいずれかを使用するには、サービスを有効にし、サービスのタイムアウトを設定し、リモート管理者ロールを持つユーザを作成する必要があります。詳細については、該当するツールのヘルプファイルを参照してください。
Connection Diagnostic Portal Service	このサービスは、Real-Time Monitoring Tool (RTMT) の Diagnostic Portal が Unity Connection SRSV 上のデータへアクセスできるようにします。
Unity Connection Directory Feeder	サイト間ネットワーキングでは、このサービスが、ローカルサイトの変更トラッキング データベースでディレクトリ変更をチェックし、リモートサイトゲートウェイの Reader タスクからのポーリング要求に応答します。
Connection Realtime Monitoring APIs	このサービスは、Real-Time Monitoring Tool (RTMT) が Unity Connection SRSV 上のデータへアクセスできるようにします。
Connection Reports Data Harvester	このサービスは、ログファイルのデータを、レポートの生成に使用されるレポートデータベースのエントリに変換できるようにします。
[Connection REST Service]	このサービスは、Representational State Transfer (REST) API クライアントを有効にします。
Connection System Agent	このサービスは、管理者が Cisco Unity Connection Administration で入力できるシステム タスク（MWI の再同期化など）をスケジュールします。

コントロールセンターでのサービスの設定

Cisco Unity Connection Serviceability のコントロールセンターを使用して、次のタスクを実行できます。

- [オプション サービス (Optional Services)] セクションの Unity Connection SRSV サービスをアクティブまたは非アクティブにします。
- [ステータスのみのサービス (Status Only Services)] セクション内のサービスを除くすべての Unity Connection SRSV サービスを起動または停止します。



(注) [重要なサービス (Critical Services)] セクション内の Unity Connection SRSV サービスを停止すると、進行中のコールが切断され、Unity Connection SRSV の通常の機能が低下する可能性があります。

- Unity Connection SRSV のサービスのステータスを表示します。
- Unity Connection SRSV のサービスのステータスをリフレッシュします。



ヒント 問題をトラブルシューティングするには、Cisco Unity Connection Serviceability と Cisco Unified Serviceability 両方でサービスを管理する必要がある場合があります。

ステップ 1 Cisco Unity Connection Serviceability で、[ツール (Tools)] を展開し、[サービス管理 (Service Management)] を選択します。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウンボックスで、該当する Unity Connection SRSV サーバを選択して、[移動 (Go)] を選択します。

ステップ 3 コントロールセンターでサービスを設定します (各フィールドの詳細については、[ヘルプ (Help)] > [このページ (This Page)] を参照)。

- コントロールセンターでサービスをアクティブ化するには：
 - 1 [オプション サービス (Optional Services)] の下で、アクティブ化するサービスを探します。
 - 2 [アクティブ化ステータスの変更 (Change Activate Status)] カラムで、[アクティブ化 (Activate)] を選択します。
- コントロールセンターでサービスを非アクティブ化するには：
 - 1 [オプション サービス (Optional Services)] の下で、非アクティブ化するサービスを探します。

- 2 [アクティブ化ステータスの変更 (Change Activate Status)]カラムで、[非アクティブ化 (Deactivate)]を選択します。
- コントロールセンターでサービスを起動するには：
 - 1 起動するサービスを探します。
 - (注) 非アクティブになっているサービスは、アクティブにしてから起動する必要があります。
 - 2 [サービス ステータスの変更 (Change Service Status)]カラムで、[開始 (Start)]を選択します。
 - コントロールセンターでサービスを停止するには：
 - 1 停止するサービスを探します。
 - (注) [ステータスのみのサービス (Status Only Services)]セクション内のサービスは、Cisco Unity Connection Serviceability で起動したり停止したりできません。こうしたサービスの起動や停止を行うには、コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用する必要があります。
 - 2 [サービス ステータスの変更 (Change Service Status)]カラムで、[停止 (Stop)]を選択します。
 - (注) [重要なサービス (Critical Services)]セクション内の Unity Connection SRSV サービスを停止すると、進行中のコールが切断され、Unity Connection SRSV の通常の機能が低下する可能性があります。アクティブになっていないサービスは起動したり停止したりできません。
 - コントロールセンターでサービス ステータスを更新するには：
 - 1 [リフレッシュ (Refresh)]を選択します。
 - 2 ステータス情報が更新され、最新のステータスが反映されます。
 - (注) アクティブ化、非アクティブ化、起動、および停止できるサービスは一度に1つだけです。
-

